

平成22年度 第1回 機械工業振興補助事業審査・評価委員会 議事要旨

開催日時:平成22年10月28日(木) 16:00~18:30

開催場所:財団法人 JKA 4A・B会議室

出席者:大山永昭、岡 俊子、梶川陽二、金子 聰、鴨志田 晃、高千穂 安長、中原
秀樹、野坂雅一、藤本浩志、吉岡 忍(五十音順・敬称略)

* 大山氏が委員長就任。

事務局:笹部俊雄、平柳豊、竹内紀文、浅倉信行

[審議結果]

- ・23年度補助方針(案)は、原案通り承認された。
- ・公示日については、事務局より説明(11月上旬から公示する旨を説明)。
- ・次回委員会の開催については、12月中下旬で調整。次回審議事項は、補助要望概要、査定方針、予算規模、担当割(主査・副査)を予定。

[意見概要]

- ・ 審査には絶対的な評価と、相対的な評価の両面を見る必要があると思われ、これが補助事業の透明性確保に必要ではないか。
- ・ 審査の結果、あるいは要望額が達せずに予算が余った場合はどうするのか。
- ・ 評価目的を明確にした審査・評価マニュアルの策定が必要ではないか。
- ・ 審査・評価マニュアルに、いわゆる天下り団体に対する対応は盛り込まれているのか。
- ・ 研究補助を募集する際には、競輪にアレルギーを持つ人も居るので、「公益金を研究に使って欲しいと」云う姿勢でPRをすれば良いのではないか。
- ・ 研究補助については、需要は有るので、広報の方法が重要ではないか。

- ・ 「少額案件」という名称には違和感がある。「研究補助」のみで十分では無いか。
- ・ “研究成果の見える化”が必要で、事業者に対して明確に情報の発信をさせる仕組みが必要では無いか。
- ・ 22年度に採択された事案を、この補助方針に照らしたら、どれだけ顔ぶれが変わるか、シミュレートをしてみてもどうか。

(意見は順不同)

* 本議事要旨は、JKA事務局が作成